

### プール清掃

柳澤 哲士

だんだん日差しも強くなり、半袖短パンで過ごす子どもたちも多くなってきました。総合的な学習の時間に畑作業をしたり、休み時間終わりにおいしそうに水筒から水を飲んだりする子どもたちの額の汗が輝いて見えます。

本校でも夏のプール学習に向けて、準備が進んでおり、先日、プール清掃を行いました。担当している四年年の分担任は小プールです。夏を思わせる日差しの中、冬の間はプールに溜まった汚れをブラシでゴシゴシこすっていきます。暑くなつて



さすように清掃をしていました。その日の日記に清掃をふり返った子どもがいました。

「今日はプール清掃をしました。水で足とくつがビッチャッチャになりました。初めてだったけど、思っていたより楽しくしっかりできました。みんなと

一緒にきれいにできてよかったです。来年もしっかりきれいにプール清掃をして、一年、二年、三年生にきれいなプールに入ってもらいたいです。」

プールの中の清掃は四年生以上の仕事です。これまでこうして上級生たちが清掃をしてきてくれたからきれいなプールで水泳ができていたことに気づいたのでしよう。そして、その思いに気づき、引き継ぐ姿に成長と頼もしさを感じました。

放流などがあり、地域とのつながりを強く感じます。全校登山は高甫小学校の校歌にも歌われており、長い歴史を持つ行事です。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となったため、今年度は二年ぶりの実施となりました。感染防止策を十分に講じた上で全校登山を実施し、登山ボランティアとして参加した保護者の方々の協力もあって、無事に登頂することができました。コロナ禍における全校登山の課題も見えました。今後、よりよい方向を検討し、伝統を守っていかたいと思います。

### 清涼談義



カット 墨坂中 坂本重慶

### 「地域とのつながりを大切に」

業田 智行

私の赴任した高甫小学校は、地域とのつながりを重視したカリキュラムが沢山あります。担任をしている四年生では、全校登山、伝統野菜である八町きゅうりの栽培、鮎川へのヤマメの



朝の水やりが欠かせず、うどんこ病やアブラムシ対策なども手間がかかります。しかし、子どもたちが八町きゅうりに毎日関わることで、栽培に対する責任と地域に対する誇りが芽生えはじめてきました。引き続きSDGs（持続可能な開発目標）との関わりを確認しながら、自分たちの住んでいる地域に誇りをも

### 職場体験学習の新しい試み

吉田 正人

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で様々な活動が変更を余儀なくされている中、本校の職場体験学習では新しい試みを始めました。

例年なら各事業所を訪問して、そこで様々な体験学習を二日間実施してきました。しかし、コロナ禍で昨年度は中止が多かったです。そのような状況の中で、須坂市商工会議所様のご協力をいただき、市内四中学校が相談して各中学校を会場に多くの事業所が講座を開いて生徒たちが体験する形で準備を進めてきました。

本校では五月二十五日の午前中に全二十四講座で開催。生徒は希望する講座を二つ選び、体験しました。一講座九十分という短い時間の中で、実際の仕事を体験したり、働くことの意義や目的、大変さなどを学んだり生徒たちにとってとても新鮮で、充実した活動になりました。

我々職員も事業所の方々も新しい取り組みとあって戸惑うこともありましたが、無事活



動することができました。地域の方の協力によって、新しい可能性を実感することができました。今後の状況にはまだまだ不確かかな点が多いですが、今回の活動のようにならざる方法を考え、学びを止めないようにはしていきたいです。(相森中)

### 編集後記

令和三年度会報二三四号を発行し、無事お届けすることができました。お忙しい中、原稿をお寄せいただきました。皆様の皆様に、心より感謝申し上げます。

- 委員長 西原秀明(井上小)
副委員長 山口美直(須坂小)
事務局 岡野千恵子(日滝小)
委員 天野道子(須坂支援)
市川麻衣子(高山小)
今田晴美(高山中)
竹前とお江(仁礼小)
村山 奏(栗方丘小)

### 教育会だより

- 4 i 各校にて代議員及び信託委員選挙
1 第一回総会
2 第一回理事会
12 教育会会計監査第二回理事会
19 研究委員会①
22 教研二団体代表者会①
22 教研推進委員会①
22 第二回臨時社員総会
22 令和2年度事業報告及び決算承認
26 令和3年度事業計画及び予算承認
26 教育会総集会常盤中 中心講師講演会
26 研究会委員会 研究委員会、同好会
26 世長会同好会発足
5 6 教研学校代表者会①
5 6 教研推進委員会②
21 24 25 新任者研修会・歓迎会兼信託講習
6 4 同好会②
9 第三回理事会
10 教研推進委員会④
15 18 第三回総会
18 教研分科会司会者打合せ
22 研究推進委員会③
7 2 同好会③
5 6 教研推進委員会⑤
5 6 教研推進委員会⑥
16 27 研究委員会② 中心講師ご指導
20 27 上高井教育会報第234号発行
29 30 同好会夏期講演会①③ 同好会④
27 同好会夏期講演会② 同好会⑤
8 23 30 教研推進委員会④ 兼信託講習B
9 2 研究推進委員会⑧ 同好会⑤
4 3 上高井教育研究会
8 第四回理事会
注※ コロナウイルス感染症予防対策のため日程変更ありうる



### 「生きる力」を共に創る教育会

上高井教育会理事長 片桐 茂和



本年度、一般社団法人上高井教育会理事長を務めさせていただきます。常盤中学校の片桐茂和です。もとより微力ではありますが、職務の重要性と責任を深く認識し、教育会発展のために尽くして参りたいと思っています。どうぞ皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い致します。

上高井教育会は、明治十八年(二八八五年)上高井郡私立教育会として創立以来一三六六年目を迎えます。多くの先輩の先生方が大切に築いてこられた「皆で共に創る教育会」、そして「不易流行」の精神を基にして、「子どもと共に自らの力

を伸ばす」職能向上の思いと、「仲間と共に学ぶ」協働の思いを引き継ぎ、さらに発展させていきたいと思っています。
新学習指導要領が昨年度小学校で、本年度中学校で完全実施となりました。新学習指導要領には、学校で学んだことが子どもたちの「生きる力」となっており、これからの人生につながり、これからの社会がどんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現し、明るい未来を共に創っていくという願いが込められています。また、中央教育審議会より、「令和の日本型教育」の構築を目指して、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働

的な学びの実現という答申がなされました。そこでは、新学習指導要領の着実な実施とICTの活用によって、一人一人の児童生徒が、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようになることが必要である、と述べられています。そのような状況の中で、本教育会の事業も、一層身近で実り多いものにしていく必要があると考えています。
その事業の中で大切にしている大きな柱、那の研究委員会では、本年度も信州大学の畔上一康先生を中心講師としてお迎えし、「子どもと共に創る授業」をテーマに、互いの実践に学び合い、そして授業を通して、教師としての資質・能力の向上を図っていききたいと考えてい

また、同好の仲間が集い、教師としての専門性を高め、教員としての、また日々の生活を豊かにする同好会も、仲間とつながり合い、共に学び合う貴重な研修の場であり、夏休みには、夏期講座として講習・講演・巡検等が集中して企画されます。
さらに、夏の講演会では、元夜間中学校教諭の松崎運之助先生をお招きし、『命の光を大きく輝かせるために』私の「夜間中学」体験記」と題してご講演をいただきます。夜間中学で三十年以上教鞭を執ってきた先生に、「命そのものが豊かで奥深い」という言葉に象徴されるように、ご自身の歩みを振り返っていただきながら、命の輝きについてお話をお聞きすることができると幸いです。
ご期待下さい。
私たち教師が、自主的・主体的に、仲間とともに情報交換をしながら、互いの良さに学び合い、私たち自身が、研修・研究に、生き生きと取り組むことによつて、子どもとともに、私たち教職員が育つ、共に育っていく喜びを実感できる、身近で実り多い、そんな教育会を皆様方と共に創り上げていきたいと思っております。(常盤中)